

日和山小学校 保護者の皆様
日和山小学校区 地域の皆様



ひよりやま応援隊通信

いつも日和山小学校の活動に、たくさんのご協力をいただき心から感謝いたします。

令和5年度の地域と学校パートナーシップ事業が始まりました！4月、新1年生の下校指導では、下校グループすべてにボランティアさんが付いて下さり、安全に下校することができました！横断歩道でしっかり右左を確認。「手を上げて渡ろうね」とボランティアさんが声をかけてくれました。1年生は初めての学校に緊張の連続だったことでしょう。ボランティアさんに学校の様子をたくさん話していました！「また明日ね！」と温かく声をかけてくださっているボランティアさんの笑顔を見て心から「ありがたいな」と感じました。

今年度も、校外学習の引率、クラブ活動、健診の補助、プール見守りなど、ボランティアの皆様のお力をお借りしたいと思っております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

▶Thanks!

絆をありがとう！

長きに渡り地域と学校をつないでこられた“小島良子さん”が令和4年度をもちまして地域教育コーディネーターを卒業されました。お疲れさまでした！小島さんは4月から日和山小学校で特別支援教育支援員として勤務しています。



▶News!

新コーディネーター誕生！

大縫 綾子（おおぬいあやこ）

二人の娘はしも町の小・中学校で学び、地域の皆さんにもお世話になりました。その恩返しの気持ちも込めて、日和っ子の健やかな成長のお手伝いをさせていただきます。よろしくお願いします。

地域の皆様へお願い

夏休みにラジオ体操実施予定の地域・自治会・町内会がございましたら地域教育コーディネーターまでご一報いただくとありがたいです。どうぞよろしくお願いいたします。

ボランティアは随時募集中です！ぜひお待ちしております！

お申込みは下記連絡先に電話・FAX・メール、二次元コードでお願いします。

★連絡先★ 地域教育コーディネーター 笠原直美・大縫綾子

[携帯電話] 080-8023-3474

[アドレス] hiyoriyama.es.partner@docomo.ne.jp

[日和山小学校] 電話 025-229-3682 FAX 025-229-3683



二次元コードからの申し込み手順

- ① スマホで二次元コードを読み取る。
- ② 「メール作成画面はこちら」をタップ。
- ③ 必要事項を入力し送信。

「日和山小学校からのプレゼント」

校長 宇ノ井 修二

5月というのに、気温が30度近くまで上がった日がありました。そんな中でも、子どもたちは元気に運動会に向けての練習を頑張り続けてきました。運動会当日は、そんな子どもたちの学習成果を、「入場制限のない」運動会で、存分にご覧いただけたものと思っております。

やがて来る夏。熱中症には十分気を付けさせたいと思います。

昨年度、校区内の何か所かで行われたラジオ体操に参加させていただいた際、とりあえず持って行った「ラジオ体操カード」が校長室に残っていました。何の気なしに眺めました。

これまでは、コロナ禍において、様々な検討がなされ、やむなく実施を断念した自治・町内会もあったことでしょう。私の地元でも、昨年度までの3年間連続で実施を見合わせました。関係者間での合意が得られなかったからです。私の地元では、「本年度こそ実施しよう」と計画が進んでいます。しも町地域の各自治・町内会でも、現在検討されていることと思います。

「ラジオ体操カード」を見ると、夏が近いことを感じ、幼い頃のことを思い出すのは、私だけではないと思います。子どもの頃に染みついたであろうこの感覚。私にとってはなかなかのお気に入りの感覚です。思い出すのです。ラジオ体操に遅れそうな時刻になり、たたき起こされたこと。寝ぼけて動いた際、かや（かもいから吊り下げた、蚊を避けるためのテントのような物）に引っ掛かり、転んだ拍子に扇風機に頭をぶつけて大けがしたこと。ラジオ体操を真面目にやらなくて、地域のおばあさんに何回もおしりを叩かれたこと。高学年になり、体操の際に前に出るようになって緊張したこと。ハンコを押す仕事にうれしさを感じていたこと。ラジオ体操が終わって家に帰ると、毎日必ず枝豆もぎをさせられたこと。枝豆もぎの最中、毎日同じタイミングで近所のおばさんから声を掛けられたこと。その後、昨晚の蚊取り線香の灰を始末し、枝豆の枝をまとめてゴミ捨てに向かうと、ラジオ体操で一緒だった何人もの地域の方とすれ違って挨拶したこと。

.....「郷愁（きょうしゅう）」という言葉の意味は知っていました。でも、心が「キュン」とするような感覚込みで、心の深い部分で理解したのは、かなり大人になってからのような気がします。

もし、この夏、ラジオ体操を実施してくださる自治・町内会がありましたら、ご多用のことと思いますが、子どもたちと同じように、ラジオ体操カードを首からさげ、童心に返って一緒にラジオ体操に参加してみませんか。コロナ禍前も、たくさんの方がかかわってくださっていたと聞いています。その数が大変多いのが、このしも町地域の特徴だと思っています。とてもありがたく思います。せっかくですので、ラジオ体操カードに子ども会長からハンコをもらっていただけるとありがたいのです。子どもたちと顔見知りになり、おしゃべりできる関係になったら、日和っ子が挨拶することのできる大人がさらに増え、学びの場がしも町全体に広がっていくこと間違いなしです。ラジオ体操カードを持って、より多くの方から参加していただけたら幸いです。学校では、子どもたちに対して「ラジオ体操などの地域行事には、できるだけ参加することとして指導しています。子どもたちと保護者の皆さん、そして地域の皆さんがそれぞれ顔見知りになり、挨拶を交わす関係になったら、子どもたちは、地域の一員としての自覚を、今以上に一段と強くもつことでしょう。

何十年か後、今の日和っ子たちに「郷愁」という言葉の意味を、「キュン」と感じさせてやりたいのです。実感を伴っていなければ、決して理解できない言葉だと思っています。今の日和っ子たちが、「郷愁」という言葉に触れたとき、その日和っ子の記憶に、できるだけたくさんの方々から登場していただきたいのです。そうすることが、このしも町をもっともっと好きになるきっかけになると確信しています。そうすれば、将来この地域の担い手となり、しも町を背負って立つ人材になること間違いなしです。

もし、ご自身の自治・町内会のラジオ体操が実施される場合、数多く参加された皆様方には、なんと、日和山小学校から、もれなく『健康』をプレゼントいたします。